カーボンニュートラルへの 化学工学

CO2分離回収,資源化からエネルギーシステム構築まで

化学工学会 編

定価3,190円 (本体2,900円+税10%) 2023年1月刊行 ISBN 978-4-621-30772-4 A5判 ソフトカバー 256ページ

カーボンニュートラル技術の最前線を一望

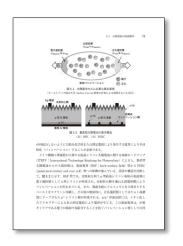
【本書の特徴】

- ◆二酸化炭素の回収、再生可能エネルギー、炭素フリー 燃料、カーボンリサイクル、エネルギー戦略や各技術 の社会的位置づけを専門的な観点から解説。
- ◆カーボンニュートラル技術開発の最前線にいる大学や 企業の研究者達が執筆。カーボンニュートラル実現に 必要な技術や政策に関する最新情報が得られる。
- ◆各章末には、最先端技術の理解に役立つ実践的な演習 問題を掲載。



【内容見本】







【目次】

- カーボンニュートラル実現に 向けた技術展開と課題
 - 1.1 はじめに
 - 1.2 カーボンニュートラル
 - 1.3 代替エネルギーの導入
 - 1.4 CO₂の分離回収
 - 1.5 CO₂の貯蔵・利用
 - 1.6 全体を通した取り組みと課題
 - 1.7 おわりに 演習問題
- 2 CO₂の分離回収技術
 - 2.1 吸収液法によるCO₂分離回収
 - 2.2 吸着・固体吸収法による CO。分離回収
 - 2.3 高炉ガスからのCO2分離回収技術
 - 2.4 冷熱を利用したCO2回収の新技術 演習問題

- 3 再生可能エネルギーと カーボンフリー燃料
 - 3.1 太陽電池の技術動向
 - 3.2 風力発電の国際動向 ~なぜ世界では風力発電の 大量導入が進むのか?
 - 3.3 大規模水素輸送システムの評価と 展望
 - 3.4 アンモニア合成触媒の新展開
 - 3.5 アンモニア混焼 演習問題
- 4 CO₂利用技術
 - 4.1 メタネーション触媒反応器の 数值流体解析
 - 4.2 再生可能エネルギーを利用した CO。の燃料化技術
 - 4.3 メタネーションの事業化展望 演習問題

- 5 カーボンニュートラルへの アクション
 - 5.1 カーボンニュートラルに向け 我が国独自の新しいエネルギー システムを考える
 - 5.2 再生可能エネルギー施設の導入に おける社会的摩擦と社会的受容 演習問題
- 6 総 論
 - 6.1 はじめに
 - 6.2 再エネ電力のみで将来の我が国の エネルギー需要を充たせるか
 - 6.3 カーボンニュートラル実現の シナリオと技術の位置づけ
- 6.4 おわりに - 今後の技術開発とシステムの実装-演習問題

【執筆者一覧】

平 (故) 秋 山 友 宏 北海道大学大学院工学研究院 Ш 幹 朗 名古屋大学大学院工学研究科 泉屋 宏 福 本 生 名古屋大学未来社会創造機構 日立造船株式会社 徳 平 宇佐美 木淳 隆 名古屋大学大学院工学研究科 藤 名古屋大学未来社会創造機構 苷 蔗 寂 樹 東京大学大学院総合文化研究科 町 \blacksquare 洋 名古屋大学未来社会創造機構 佐 勝 俊 名古屋大学大学院工学研究科 丸 田 妙 藤 株式会社INPEX 紫 垣 伸 行 JFEスチール株式会社 溝 莉 彩 元 名古屋大学大学院工学研究科 博士前期課程 中 浩 之 本 樹 田 株式会社INPEX 宮 広 株式会社INPEX 勝 俊 巣 芽 美 永 出 名古屋大学大学院工学研究科 本 名古屋大学大学院環境学研究科 恒 司 名久井 東京理科大学産学連携機構 安 \blacksquare 陽 京都大学大学院経済学研究科 能村 貴 宏 北海道大学大学院工学研究院 吉 原 弘 株式会社INPEX 則 永 行 庸* 名古屋大学未来社会創造機構 樹 株式会社INPEX Ш 橋 﨑 克 維 一般財団法人エネルギー総合工学研究所 Cheolyong Choi 三菱瓦斯化学株式会社 橋 本 望 Wei Zhang 北海道大学大学院工学研究院 中国石油大学 林 潤一郎 九州大学先導物質化学研究所

[五十音順・所属は2022年12月現在、*は編集委員長]

ご注文はお近くの書店・生協まで、本注文書を使ってお申し付けください。ネット書店でもお求めいただけます。

注	カーボンニュートラルへの化学工学 CO2分離回収, 資源化からエネルギーシステム構築まで 定価 3,190円(本体 2,900円+税10%) ISBN 978-4-621-30772-4 冊 お名前	取扱店
文書	 ご住所 〒	
	TEL	

※ご注文いただいた個人情報は、書店、取次(流通)・弊社間での商品手配の目的に利用させていただきます。